令和８年第３回野洲市議会定例会
予算常任委員会　各分科会会議録

総務分科会

１．招集年月日	令和８年６月１７日（水）午前９時 30 分～午前９時 39 分
２．場　　所	本館３階　第１委員会室
３．出席委員	◎東郷　克己　　○石川　恵美　　工藤　義明
	永島　知香　　山岡　卓治　　山本　剛　　以上６人
	オブザーバー　津村　俊二 議長
４．説　明　員	別紙のとおり（１２人）
５．事務局職員	辻　昭典　　行俊　勉　　棚橋　萌永
６．付議事件	○予算常任委員会付託議案１件 (1) 議第 50 号　令和８年度野洲市一般会計補正予算（第１号） 中分担表のとおり

文教福祉分科会

１．招集年月日	令和８年６月１７日（水）午後１時 01 分～午後１時 22 分
２．場　　所	本館３階　第１委員会室
３．出席委員	◎野並　享子　　○益川　教智　　稲垣　誠亮
	遠藤　総一郎　　橋　　完司　　以上５人
	オブザーバー　津村　俊二 議長
４．説　明　員	別紙のとおり（１５人）
５．事務局職員	辻　昭典　　行俊　勉　　辻　拓
６．付議事件	○予算常任委員会付託議案１件 (1) 議第 50 号　令和８年度野洲市一般会計補正予算（第１号） 中分担表のとおり

環境経済建設分科会

１．招集年月日	令和８年６月 19 日（金）午前９時 27 分～午前９時 42 分
２．場　　所	本館３階　第１委員会室
３．出席委員	◎木下　伸一　　○岩井　智恵子　　荒川　泰宏
	奥山　文市郎　　田中　陽介　　田中　遼　　以上６人
	オブザーバー　津村　俊二 議長
４．説　明　員	別紙のとおり（１０人）
５．事務局職員	辻　昭典　　行俊　勉　　赤坂　悦男
６．付議事件	○予算常任委員会付託議案１件 (1) 議第 50 号　令和８年度野洲市一般会計補正予算（第１号） 中分担表のとおり

令和８年９月１０日

予算常任委員会委員長　山本　剛　　印

予算常任委員会環境経済建設分科会（出席説明員）

（令和８年６月１９日）

１０名

役　　職　　名	氏　　名
副市長	林　毅
都市建設部長	山田　千尋
都市建設部次長	今在家　裕幸
道路河川課長	辻　功
環境経済部長	中塚　誠治
環境経済部次長	西野　智
環境課長	橋　元輝
農林水産課長	髙田　城
健康福祉部政策監（地域医療政策担当）	駒井　文昭
地域医療政策課課長補佐	瓜谷　直樹

令和８年第３回野洲市議会定例会
市提出議案　委員会付託表

予算常任委員会　分科会分担表

議案番号	件　　名	分科会
議第５０号	令和８年度野洲市一般会計補正予算（第１号）	各分科会

議第50号　令和8年度野洲市一般会計補正予算（第1号）
予算常任委員会分科会分担表

○予算常任委員会総務分科会
　令和8年度野洲市一般会計補正予算（第1号）中
　【歳出】 総務費・消防費のうち、総務分科会が所管する予算
　【歳入】 一般財源全款、上記歳出に関係する歳入（特定財源）及び市債

○予算常任委員会文教福祉分科会
　令和8年度野洲市一般会計補正予算（第1号）中
　【歳出】 民生費・衛生費・教育費のうち、文教福祉分科会が所管する予算
　【歳入】 上記歳出に関係する歳入（特定財源）

○予算常任委員会環境経済建設分科会
　令和8年度野洲市一般会計補正予算（第1号）中
　【歳出】 衛生費・農林水産業費・土木費のうち、環境経済建設分科会が所管する予算
　【歳入】 上記歳出に関係する歳入（特定財源）

〔歳出の詳細〕

	款		項		目		事業		分科会
	番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称	
歳出	2	総務費	1	総務管理費					総務
	3	民生費	1	社会福祉費					文教福祉
			2	児童福祉費					文教福祉
	4	衛生費	1	保健衛生費					文教福祉
					4	環境衛生費			環境経済建設
	6	農林水産業費	1	農業費					環境経済建設
	8	土木費	2	道路橋梁費					環境経済建設
	9	消防費	1	消防費					総務
	10	教育費	1	教育総務費					文教福祉

〜〜〜

◎令和８年６月１９日（月）　　午前９時２７分〜午前９時４２分

◎本館３階　第１委員会室

〜〜〜

（開会）

○会長（木下伸一）　（午前９時２７分）　皆さん、おはようございます。定刻より少し早いですけれども、皆さんおそろいですので、ただいまから予算常任委員会環境経済建設分科会を開会いたします。

　本日の出席委員は６人全員であります。着座にて失礼いたします。

　本分科会の開催につきましては、去る６月１２日の予算常任委員会におきまして、本分科会に分担されました予算について審査を行うものであります。

　これより議事に入ります。

　本分科会の審査につきましては、質疑のみであります。

　採決につきましては、６月２４日開催の予算常任委員会で行いますので、ご了承願います。

　説明に当たっては、所属名及び氏名を言ってから説明願います。

　また、説明、質疑に当たっては、関係資料のページ数を言ってから簡潔明瞭にご発言お願いいたします。

　それでは、次第３、付議事件について審査を行います。

　議第５０号令和８年度野洲市一般会計補正予算（第１号）のうち、本分科会が担当いたします関係予算の審査を行います。

　まず、第４款衛生費中（第１項、第４目）、第６款農林水産業費、第８款土木費における歳出及び関係する歳入（特定財源）について、関係部より説明を求めます。

　どうぞ。

○環境経済部次長（西野　智）　委員の皆様、おはようございます。環境経済部の西野でございます。よろしくお願いいたします。

　それでは、議第５０号令和８年度野洲市一般会計補正予算（第１号）について、私のほうからは、環境経済部が所管します補正予算についてご説明させていただきます。

　資料は、令和８年度野洲市補正予算書２０ページから２３ページまで、また、令和８年度予算６月補正（案）概要は歳入が２ページ、歳出が４ページとなります。

令和８年度予算６月補正（案）概要を使ってご説明させていただきます。

４ページをご覧ください。

第４款衛生費、第１項保健衛生費、第１目環境衛生費、事業名２、守山野洲行政事務組合負担金では、野洲川斎苑葬祭棟空調設備の改修工事に必要な経費といたしまして、１，８８６万８，０００円を増額するものでございます。

今般実施する葬祭棟の空調設備は、平成２０年４月から供用開始しており、昨年７月には、空調設備の故障により緊急修繕等の対応をしております。また、消耗品等の生産も既に終了していることから、早期に抜本的な改修が必要となっており、本年の５月末に空調設備改修の設計業務が完了しましたので、改修工事等に要する経費を計上するものでございます。

なお、この業務に係る財源といたしましては、火葬施設整備事業債を充当しており、守山市と野洲市の負担割合に相当する金額を計上しております。

次に、第６款農林水産業費、第１項農業費、第４目農地費、事業名３、土地改良事業費では、県営農地防災事業で改修する大篠原の新池の実施設計として、負担金１５２万９，０００円を増額するものでございます。

当該のため池につきましては、耐震調査の結果により改修が必要とされており、改修に必要な測量調査、調査、解析、概略設計等を行う整備事業計画作成業務が完了しましたので、引き続き実施設計を行うための負担金を増額するものでございます。

なお、当該事業に係る特定財源といたしましては、地域用水機能増進事業債を充当しており、野洲市の負担割合は事業費の１１％に相当する金額を計上しております。

以上、ご説明とさせていただきます。

○会長（木下伸一）　どうぞ。

○地域医療政策課課長補佐（瓜谷直樹）　委員の皆様、おはようございます。健康福祉部地域医療政策課、瓜谷です。

私からは、第８款土木費の説明をさせていただきます。

概要版の４ページをお願いいたします。

第８款土木費、第２項道路橋梁費、第３目道路新設改良費の事業０３道路新設改良工事費におきましては、市道五三条南ノ田線新設工事に係る費用１億７１０万円の財源として計上しておりました地域未来交付金が不採択となったため、その財源更正を行うものです。

以上、説明とさせていただきます。

○会長（木下伸一）　ただいま説明を受けました関係予算について、これより質疑に入ります。

質疑はございませんか。

奥山委員。

○委員（奥山文市郎）　おはようございます。

ただいまありました、土木費の道路橋梁費の新しい病院へのアクセス道の関係の財源更正が、地域未来交付金５，３５０万から起債ですね、道路事業債に財源が変わったということで、上のほうの管轄外の衛生費のほうの地域医療の関係も６００万、交付金と事業債の組替えがあったんですけども、多分、当初予算のときに、地域未来交付金が何かの担保があって計上されたと思うんですけども、こんな早い時期に、早くですね、この未来交付金が国から交付されないということが、どういった理由で当市に交付されないか。その理由をお聞かせください。

○会長（木下伸一）　どうぞ。

○地域医療政策課課長補佐（瓜谷直樹）　地域医療政策課、瓜谷です。

まず、１つですが、この地域未来交付金の採択結果が届きましたのが、今年の４月７日であったということが挙げられます。本来でありますと、例年どおりですと３月中に内示が来るんですけれども、今年は国の予算の成立が少し遅れた影響がございまして、これは後ろにずれ込んでしまったということがございます。それで、４月に入って、要するに令和８年度に入ってから届いたという次第になります。

不採択となった理由につきましては、４月７日付で通知が届いております。

読み上げさせていただきます。

事業や経費の内容と、課題の解決やＫＰＩの向上との関連性が弱く、地方創生に資する事業であることが読み取れないということが理由として挙げられておりました。

以上、説明とさせていただきます。

○会長（木下伸一）　どうぞ。

○健康福祉部政策監（駒井文昭）　健康福祉部（地域医療政策担当）政策監の駒井でございます。

ちょっと補足をさせていただきたいと思います。

まず、今、課長補佐の瓜谷のほうが申し上げましたとおりであるわけなんですけれども、不採択の理由で、読み取れないというような結構辛辣な表現があったのは事実ではあるん

ですが、ご承知いただいておりますように、去年の秋でしたか、高市政権に政権が代わりまして、それに伴ってと私は理解しておりますけれども、この交付金の位置づけが、それまでは地方の、どちらかと言うと個性ある地方づくりといったところに一定色があったわけなんですけれども、高市政権の発足後、それは政権の色だと思うんですけれども、いわゆる経済を強くすることに資するかどうかというところに大きな重点が置かれるように変わったと。

したがいまして、私どもとしましては、昨年度中、年度の初めから懸命にそういったところで県の担当者といろいろ調整をしてきて、十分に蓋然性はあるだろうというふうに見込んで当初予算に臨んで、あるいは県を通じて内閣府のほうにいろいろと調整をしていただいていたわけなんですけども、若干はしごが外れたかなというような感覚が正直ございまして、交付金が不採択になったというところでございます。

それと、あと、奥山委員がおっしゃった、予算の段階で一定の担保とおっしゃいましたけれども、予算の段階でもちろん担保が取れているものもありますけれども、基本的に予算というものは、特に財源に関しましては、一定の蓋然性を基に計上しておるものでございますから、奥山委員は行政の専門でおられますので、申し上げるまでもないことではございますけども、こういうことは蓋然性をもって計上しておりますものの、それが遺憾ながらこういった結果になるということは、往々にしてあることと私は認識しております。

以上でございます。

○会長（木下伸一）　奥山委員。

○委員（奥山文市郎）　了解いたしました。今回、病院の関係で２つの項目で地域未来交付金が交付されなかったということであるんですけども、大義としては、新しい病院へのアクセス道というところで、道路をつくるのに、道路橋梁費のお仕事を病院の職員さんが説明された。ちょっと私も違和感もあるんですけれども、この病院の地区については、市街化区域に今年の２月に編入されまして、将来的な部分の中で見たらば、その市街化区域にアクセスするという大義を若干変えれば、今後も野洲市の公共施設である病院を核としたまちづくりのそういう導入部分のアクセス道といった見方もあるし、単に諦めるんじゃなくて、様々な情報、庁内の情報とか我々議員とかの情報を共有すれば、何とか交付金が、何かどこか突っ込めるような気もするんですけども、またそういう情報をあらかじめ私どもにいただいて、職員さんと、そして、議員も含めて、国に対して努力していくといったことがあれば、今後ね、全然違いますから、交付金と借金ではね。そこら辺、ちょっと要望させ

ていただきます。

以上です。

○会長（木下伸一）　どうぞ。

○健康福祉部政策監（駒井文昭）　ありがとうございます。ご要望にお答えさせていただけるかどうか分かりませんが、今おっしゃいましたように、今回、６月という早々の段階で交付金の代わりに全部起債を充て込む形になっております。当然これに関しましては、他の分科会でも審議事項に該当するところですが、同じ４ページの一番上の衛生費のところ、これも同じことになっております。

特に衛生費におきましては、もう全部一般財源でという形で一旦は落とし込んでおるわけですけれども、有利な起債がないかとか、そういったことについて、財政課と当課のほうで調整をして、いろいろ懸命に有利な財源を検索してございます。

もしそういったものがまた定まりましたら、そのときにまた補正予算を計上させていただいて、それはいつになるかちょっと分かりませんけども、させていただいて、対応していきたいというふうに考えてございます。

委員おっしゃったように、市道整備というものに関して、未来交付金の類いとは申しませんけれども、なかなか国、県等からの有利な補助金の類いというのは見当たらないのが現状でございまして、努力はいたしますけれども、そういったところでございます。

あと、ちょっと違和感というふうにおっしゃったところで申し上げますと、市役所の執行部の中で、一応部局の縦割りがありまして、それぞれに分掌事務があって、それに対応しておるというところでございますけれども、例えば他の、隣の事業と一体的に取り組むほうがよいというような場合に関しては、今日この分科会に私が座ってお話をさせていただいているように、部局の垣根を越えて柔軟に、効率的に事務の執行をしていくということは間違っていないのではないかなというふうに考えておるところでございます。

以上とさせていただきます。ありがとうございます。

○会長（木下伸一）　他に質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○会長（木下伸一）　質疑がないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

以上で議第５０号令和８年度野洲市一般会計補正予算（第１）のうち、本分科会が担当する部分についての審査を終結いたします。

以上で、本分科会が担当する予算の審査は全て終了いたしました。

この際、お諮りいたします。

分科会会長報告の作成については、私に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○会長（木下伸一）　ご異議なしと認めます。よって、私に一任いただくことに決しました。

これをもって、予算常任委員会環境経済建設分科会を閉会いたします。お疲れさまでした。（午前９時４２分　閉会）